

八幡仏教会報

第14号

発行所
岐阜県郡上市八幡町
八幡仏教会

発行責任者
会長 浅野真頭

八幡仏教会ホームページ
<http://www.8butsu.jp>

いつぶくして また動き出す

八幡仏教会会長 浅野真頭

日頃は八幡仏教会の活動にたいしまして、深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

まだまだコロナ禍とはいえ少しずつ平静を取り戻しつつある中での、お釈迦様のお誕生日をお祝いする五月五日「花まつり」のお参りほんとうに有難うございました。こどもたちはじめ参加いただいた多くの方々、世話人の皆様方、四年ぶりということもあつて愛くるしい目の輝き、心からなる合掌の姿心温まる光景でした。

私たちが日々の生活、仕事に家事に育児…それぞれが懸命に、精進の心持ちで過ごすのはとても大切なことですが、それと同

じ様にしっかりと休養することもまた、生きる上で大切であると思います。

ある檀家さんが、お墓の花入れに穴が空いて水が漏れすぐに花が枯れてしまふ。早く直さないと毎日心配で心配で早くしないといと、お墓に下見にお参りに見えました。

その時、私はお釈迦さまの説かれた「琴の絃」のたとえを思い出しました。

お釈迦さまのお弟子にソーナという大変に熱心に修行をされた僧侶がおられました。ソーナは休むことなく、まさに血の滲むような修行をされていたのです。が、それでもさとりを得ることができず、

ついには修行を諦めようと思ひ悩むほどでした。その苦悩を見抜いたお釈迦さまは、彼が琴の名手であったことから、「琴の絃は強く張り過ぎず、また緩めすぎもしない時にこそ、良い音が出るだろう」と説かれました。その助言にソーナは、自らの姿勢を省みて再び修行に励み、ついにはさとりを得られたというのです。

しばらくして新しい花立を設置され安堵された姿を拝見しほっとしました。

お釈迦さまの説かれた、絶妙なバランスを保った心境、日々の出来事に流されがちな私たちだからこそ、目指すべき境地であるように思います。コロナ禍も落ち着きつつあるなか、日常を取り戻そうと気持ち急ぎますが、そんな時にこそ一日、一瞬の大切さを念じつつ動き出してまいります。

四年ぶりに花祭りが開催されました

令和二年より令和四年の間、中止となっておりました「花祭り」が、今年の五月五日に開催されました。沢山のご参加ありがとうございました。

お手伝い頂いた世話人様や景品のご提供を頂きました皆様には大変感謝申し上げます。

当日は天候にも恵まれ、連休中という事もあり、小さなお子さんの参加者はもちろん、観光客の見物人も多かったように思います。



コロナ禍による三年間は、様々な行事が中止になり、経済的にも気分的にも沈んでおりましたが、今年になって少しずつ行事が再開され、活気も戻りつつあります。八幡仏教会の行事の再開も、活気づくきっかけの一つになると嬉しいです。

令和五年度

暁天の集い予定表

七月二十八日(金)	洞泉寺	八月三日(木)	悟竹院
七月二十九日(土)	慈恩寺	八月四日(金)	浄因寺
七月三十日(日)	願蓮寺	八月五日(土)	長敬寺
七月三十一日(月)	最勝寺	八月六日(日)	大乘寺
八月一日(火)	善光寺	八月七日(月)	蓮生寺
八月二日(水)	安養寺	八月八日(火)	楊柳寺

※朝六時頃開始、四十分程度

令和四年度

主な事業報告

五月五日(木) 花祭りパレード 中止

七月二十八日(木)～八月八日(月) 暁天の集い

八月十七日(水) 灯笼流し

九月十六日(金) 追弔会

令和五年度

主な事業予定

五月五日(金) 花祭りパレード

七月二十八日(金)～八月八日(火) 暁天の集い

八月十七日(木) 灯笼流し

九月十六日(土) 追弔会

令和五年度役員

令和四年度の役員は、次のとおりです(順不同)。ご苦勞様ですがよろしくお願いたします。

Table of officers and their names, including 会長 (浅野真顕), 副会長 (千葉讓), 事務局長 (稲村隆元), 総務部長 (山下健一), 事業部長 (服部純一), 教化広報部長 (服部貢一郎), 監事 (筒井淳美, 和田勝介), 理事 (川上朝史, 加藤一朗, 清水俊夫, 大前三郎, 加藤克久, 平瀬忠寿), 寺院 (石神真, 川岸承翁, 楠智広, 高橋教雄, 多田克次, 東理隆, 中島密慈, 毛利諦信).

町内世話人(七月十日現在)

Table of town residents and their names, organized by district (e.g., 上桜町, 下桜町, 上柳町, etc.), listing names like 田尻浩, 酒井雄一朗, 野田礼行, etc.

令和5年度八幡仏教会予算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

【収入の部】

科目	前年度実績	予算額	備考
繰越金	1,531,412	1,467,352	
会費収入	619,000	600,000	@500×1,200戸分
事業収入	107,098	125,000	
内訳	花まつり	0	参加費@100×100人分
	灯籠流し	92,098	灯籠申し込み@1,000×100基分
	追弔会	15,000	志納金ほか
	暁天の集い	0	0
雑収入	12	0	
積立金取り崩し	0	0	
合計	2,257,522	2,192,352	

【支出の部】

科目	前年度実績額	予算額	備考
事業部費	409,710	645,000	
内訳	花まつり	0	ポスター、チラシ、布施、供物、参加記念品等
	灯籠流し	272,310	ポスター、チラシ供物、布施、供物等
	追弔会	103,400	布施、供物等
	暁天の集い	34,000	ポスター、チラシ、皆勤賞等
総務部費	0	0	
教化広報費	63,800	120,000	サーバ利用料、会報、パンフレット
事務費	153,740	200,000	通信費、事務用品等
会議費	22,200	100,000	世話人会、常任理事会
渉外費	140,720	150,000	市仏教会費、倉庫土地借料、香典、供花、香ほか
備品費	0	100,000	
予備費	0	877,352	
次年度繰越金	1,467,352	0	
合計	2,257,522	2,192,352	

※コロナ禍、諸物価の高騰など社会全般の急激な変化のため、前年対比は不可。

《あとがき》
 まもなく郡上踊りの季節です。本年は通常開催との事。郡上踊りは八幡町民の生活の一部と言えるほどの日常でしたが、通常開催で、やっと元の生活に戻れる気がします。
 八幡仏教会報へのご意見、ご要望等ございましたら、柳町 善光寺までご連絡ください。次回の参考にさせていただきます。
 (せ)

令和4年度八幡仏教会収支決算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

【収入の部】

科目	予算額	決算額	増減	備考	
繰越金	1,531,412	1,531,412	0		
会費収入	625,000	619,000	△6,000	3年度分@500×8戸分を含む	
事業収入	250,000	107,098	△354,000		
内訳	花まつり	0	0	コロナ禍により中止	
	灯籠流し	200,000	92,098	△107,902	灯籠84基、賽銭
	追弔会	50,000	15,000	△35,000	志納金
	暁天の集い	0	0	△60,000	
雑収入	0	12	12	預金利息	
積立金取り崩し	0	0	0		
合計	2,406,412	2,257,522	△148,890		

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減	備考	
事業部費	450,000	409,710	40,290		
内訳	花まつり	0	0	コロナ禍により中止	
	灯籠流し	250,000	272,310	△22,310	御礼、布施等
	追弔会	140,000	103,400	36,600	会場謝礼、布施等
	暁天の集い	60,000	34,000	26,000	チラシ、皆勤賞16
総務部費	0	0	0		
教化広報費	60,000	63,800	△3,800	サーバ利用料	
事務費	100,000	153,740	△53,740	通信費、事務用品、事務補助費等	
会議費	84,000	22,200	61,800	常任理事会	
渉外費	150,000	140,720	9,280	市仏教会費、倉庫土地借料、香	
備品費	100,000	0	100,000		
予備費	1,462,412	0	1,462,412		
小計	2,406,170	790,170	1,616,242		
繰越金	0	1,467,352	1,467,352		
合計	2,406,412	2,257,522	148,890		

積立金	定期貯金	1,151,285(元利合計額)	
-----	------	------------------	--

上記のとおり報告します。

令和5年3月29日 八幡仏教会 会計 本田 あけ美

監査の結果 正確であることを認めます。

令和5年3月29日 八幡仏教会 監査 筒井 淳美
 監査 和田 勝介